第七号

PRESS

北支占領・東支鉄道奪取参戦対ソ同盟・帝国軍命令!!

大衆的反戦行動を組織して
ハ・一反戦デーに備へろ!

――職場・部落の中に 上海反戦会議支持委員会をつくれ――

（同盟員諸君並に全国の労働者農民学生兵士諸君！）

日本帝国主義の侵略戦争は、ついに全面的な対ソ戦争の段階にまで発展しようとしている。

関東軍特別大演習、北支占領、東支鉄道奪取、参戦準備、これらの一連の事実は、日本帝国主義が、ソ同盟に対して、公然たる武力攻撃を開始しようとしていることを示している。

（中略）

大衆的反戦行動を組織して、ハ・一反戦デーに備へよ！

全国の同志諸君！

今こそ我々は、一切の階級的政治犯人即時釈放しろ！

同志原・市原をすぐ出せ！

同志福田を即時釈放しろ！

文化活動の自由・公演・講演集会・言論・出版の自由を！

教員赤化事件絶対反対！

満洲・北支の帝国主義戦争反対！

ソ同盟・中国革命支持！

帝国主義戦争絶対反対！

反戦支持労働者会議を結成して上海の反戦大会を守れ！

代表者・メッセージ・基金を全国主要工場・事業場から上海へ送れ！

八・一デーを日帝打倒の大衆化にむけるストライキで！

（反戦委員会）

第三回全国大会を
如何に斗いとるか

（中略）

組織活動の強化

（中略）

し給へ！

反戦斗争方針

P.M中央常任委員会書記局

別項に詳細な活報勢は我々に何を物語り、何を要求し義務づけているか？それは明かに理下のわれわれの斗争の集中実は、第四をや戦争強行に対する大衆的反対斗争の組織にあることを示してある。しかも尚現在の如く国盟の力が著しく弱められている時、この反戦斗争を如何にすべきであるか、メーデー以後続くの国盟員は自分の部署に対する責任関心はうすらぎ、活動は極やて低調にあり、したがって我々の同盟員に委ねられてあった今迄の活動方法から努力しても組織されずサークル活動に於いても招集の形である。それにかかわらず、メーデー以後この反戦斗争を通じて、サークル活動の停滞打破強化を計らねばならない。あらゆる機会をとらへて反戦ゴシ様々、ビラニュウスを組織し全労働日常斗争と結びつけて反戦斗争を斗はねばならない。その為には、サークル配属同盟員は積極的、自発的、組合をとり巻く諸問題、職場、組合の諸説を最も効果的に考慮しなければならない。そして仕事に

むびては新しい反戦職への同盟員は適切な反戦班の編成をしなければならない。この為には、一時的にはまとうはれ、一時的にはまとうはれ、一時的にはまとうはれ